

健康への

メッセージ

シリーズ 86



東陽病院院長 大原 啓介

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい21世紀の新春をいかがお迎えでしょうか。21世紀には科学技術

は飛躍的な進歩を遂げ、

豊かで便利な社会をもたらすでしょう。宇宙空間への進出も現実のものとなることでしょうし、医学の面でも遺伝子レベルの診断治療が進み、さらなる長寿への道が開けるかもしれません。他方環境破壊が進み、またモラルや危機管理の欠如が人類にとって大きな脅威となる恐れもあります。何はともあれ平和で豊かで、そして何よりも地球に優しい21世紀であって欲しいと願います。

さて、東陽病院は今年創立50周年を迎えます。苦難の歴史があるだけにこの50年という長い歳月は極めて意義あるものであり、大変な重みがあります。改めて、創設以来東陽病院を支えて下さった多くの方々に敬意と謝意を表します。

振り返ってみますと、東陽病院は戦後間もない昭和26年8月内科、外科、産婦人科の3診療科からなる34床の国保東陽病院として開設され、幾多の変遷を経て、平成3年6月に、開設40周年を期して現在地へ全面新築移転し、最新医療機器を整備し、診療科も増設し、10科100床の近代的病院となりました。この間に町村合併その他により名称も光町東陽病院、さらに組合立東陽病院と改称されています。それから10年、医療改革の嵐の中でその対応に追われながら、医師その他

の優秀な人材の確保・増員、看護体制の強化、入院環境の整備、外来予約診療制の導入等、一般病院として機能の充実・医療の質の向上を図って参りました。その一方で、人口高齢化に伴って漸増する慢性期医療への対応として平成9年より訪問看護を開始し、更に昨年4月には介護保険の導入に合わせて療養型病床を設け、長期に亘る医療を必要とする方々が病状に応じて在宅に於いても入院でも療養ができる様に環境整備を図ったところでもあります。

21世紀を迎えて

未だ皆様方のニーズに充分には応えきれていない面があることは否めませんが、今後も更なる整備・充実を図ると共に、他の医療機関や福祉との連携をこれ迄以上に緊密に図りながら最良、良質な医療の提供に努め、当地域に於ける医療の中核として急性期医療は勿論のこと、慢性期医療の分野に於いてもご期待に応えられますよう職員一同努力するつもりであります。

ご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。

※東陽病院の休日当番日

1月3日(水)・21日(日) 午前9時～午後5時
医師2名が待機・来院の際は電話を ☎ 84 1335

母親学級

日時 1月19日(金) 午後2時から4時
場所 東陽病院2階 産婦人科 外来
対象 制限はありません

話題の本



- 「図解IT革命が見る見るわかる」
松原 聡／編者 サンマーク出版
- 「IT革命 新世紀への挑戦」
竹中 平蔵／編 朝日新聞社

IT革命

かつての産業革命に匹敵するともいわれているIT革命とは、どんな革命なのでしょう。

社会・経済システムを根本から変化させようとしている、この革命によって何が生まれ変化するのか考えてみませんか。

- 「IT時代の社会のスピード『超』
整理日誌5」
野口 悠紀／著 ダイヤモンド社
- 「文化としてのIT革命」
山崎 正和／編 晶文社

ほかにもIT革命の本は多数あります。

ほんの

森

＝町立図書館＝
☎ 84 3311

特別整理期間のお知らせ

1月29日(月)～2月7日(水)

館内資料の整理点検作業のため休館します。本の返却は、返却ポストをご利用ください。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

1月の休館日

1日(祝)～4日(木)、8日(月)、9日(火)、15日(月)、22日(月)、29日(月)～2月7日(水)